

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月17日

協議会名: 勝山市生活交通地域協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
勝山交通(株)	北郷予約便 勝山駅前～福井勝山総合病院～坂東島	・病院等専用時刻表の作成 ・バスの乗り方教室を実施 ・京福バス勝山大野線のOD調査を実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業との連携を強化	A 計画どおり事業は適切に実施できている。	A 利用者数は4,199人となり、目標値である4,000人を上回った。	目標値を上回ったが、引き続き利用者ニーズをしっかり把握し、利用促進に力を入れたい。また、将来を見据えた生活交通サービスの確保・維持に努めたい。
大福交通(有)	平泉寺・猪野瀬予約便 勝山駅前～猪野瀬地区～平泉寺地区～小矢谷	・病院等専用時刻表の作成 ・バスの乗り方教室を実施 ・京福バス勝山大野線のOD調査を実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業との連携を強化	A 計画どおり事業は適切に実施できている。	A 利用者数は6,057人となり、目標値である5,000人を上回った。	目標値を上回ったが、引き続き利用者ニーズをしっかり把握し、利用促進に力を入れたい。また、将来を見据えた生活交通サービスの確保・維持に努めたい。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月17日

協議会名:	勝山市生活交通地域協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業 地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	第5次勝山市総合計画においてあげられた『人にやさしい交通体系の確立』をめざし、各地区および利用者のニーズを把握し、高齢者等、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図る。また、えちぜん鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの利用を促進し、地域の実情に応じたきめ細かな生活交通環境の整備を図る。 えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画においては、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指すため、えちぜん鉄道と路線バスや地域密着型のコミュニティバス等が連携し、公共交通網をネットワーク化する。

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 勝山市地域公共交通活性化協議会

平成23年6月27日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定等

# 1.協議会が目指す地域公共交通の姿 (Plan)

## ■ 地域の特徴、概要、公共交通の取り組み背景等

- ・人口；24,125人（県内17市町中 9位）
- ・世帯数；7,703世帯（県内17市町中 9位）
- ・高齢化率；33.96%（県内17市町中 3位）
- ・面積；253.88km<sup>2</sup>（県内17市町中 4位）
- ・鉄道；えちぜん鉄道 勝山永平寺線
- ・バス幹線；京福バス 勝山大野線（1路線）
- ・フィーダー；コミュニティバス（10路線）
- ・観光路線；恐竜博物館直通便、  
（2路線） 市内観光バス「ダイナゴン」

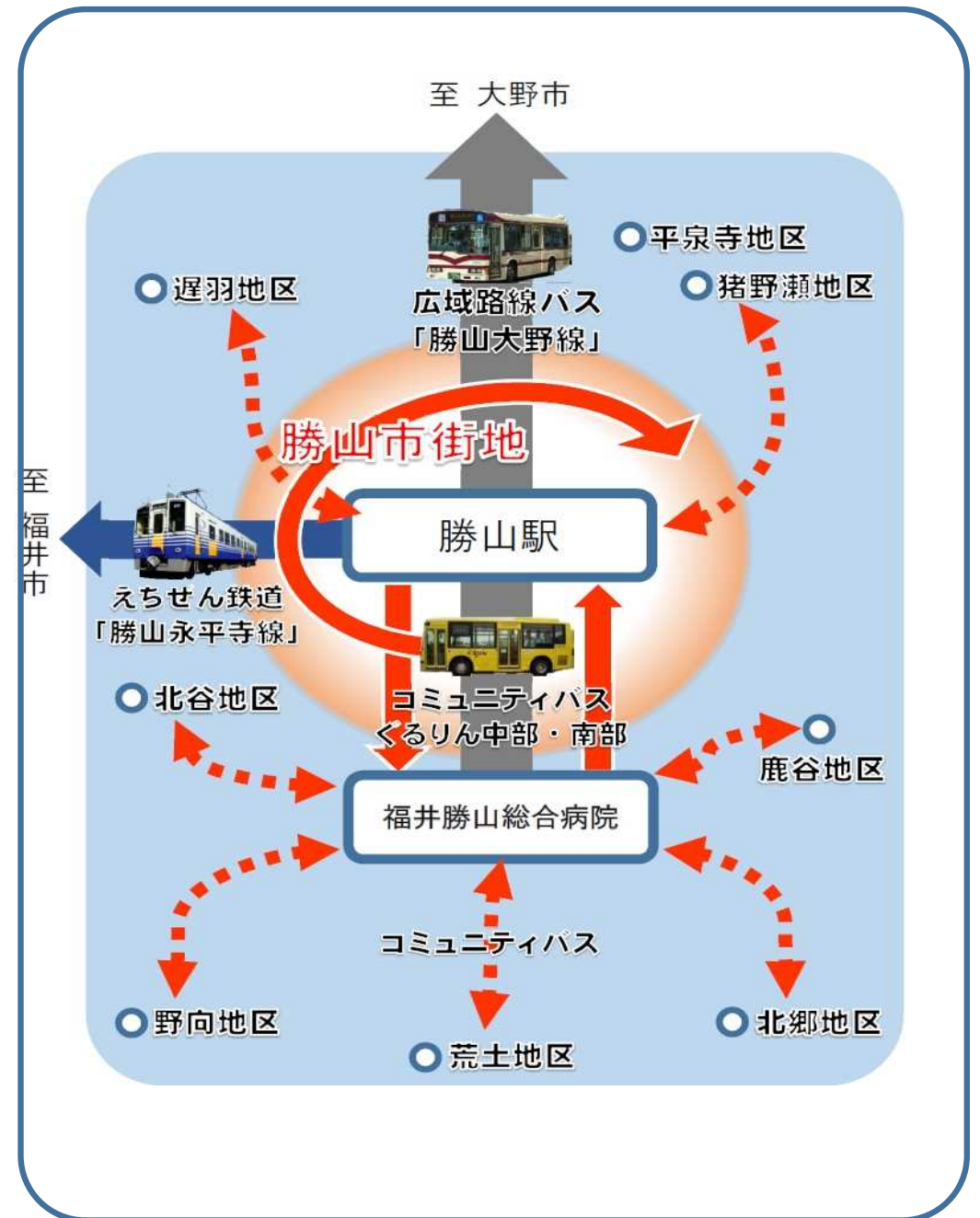
## ■ 計画の基本的な方針、目標、期間等

### ・目標

クルマに過度に依存した交通状況から脱却し、公共交通の利用拡大を目的とする。

### ・期間

平成23年度から令和2年度



### ■ えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に位置付けられている主な事業

施策のポイント	実施項目	実施内容等
フィーダー交通の整備・充実	コミュニティバスの機能確保とサービス向上	ダイヤ調整等による接続改善、ルート見直し
観光用コミュニティバスの運行	土日祝に観光用コミュニティバスを運行	勝山駅と勝山市内を巡る観光用コミュニティバスの運行
公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	公共交通とまちづくりへの意識啓発と利用促進	カーフリーデーやまちフェスなどの各種イベントに合わせた、公共交通とまちづくり事業の実施

### 令和元年度の取組み

- ① コミバス「遅羽線」 嶗崎ふれあい会館前の新設
- ② 病院等専用時刻表の作成  
2施設（木下医院、いとうクリニック）に配布および提供
- ③ バスの乗り方教室の実施  
4か所（野向町、荒土町、鹿谷町、および勝山地区）で実施済み
- ④ **京福バス勝山大野線のOD調査および啓発等の利用促進事業を実施**（詳細はアピールポイントで説明）  
平日日中のOD調査を実施。
- ⑤ 高齢者運転免許自主返納支援事業との連携強化  
バス無料券発行時にマイ時刻表作成サービスの紹介およびチラシ配布を実施

### ■ 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

○目標値；年間利用者数（H30.10-R1.9）

★－国補助事業

年間利用者数	目標値	実績値	増減	評価	前年度
★北郷予約便	4,000人	4,199人	199人	○	3,806人
★平泉寺・猪野瀬予約便	5,000人	6,057人	1,057人	○	6,012人

○目標達成状況についての考察（特殊要因等）

【北郷予約便】

- ・北部中学校、勝山高等学校への通学利用が増加した。
- ・通院、買い物の利用者が増加した。

【平泉寺・猪野瀬予約便】

- ・九頭竜ワークショップの通所者、観光客の利用が増加した。
- ・平泉寺小学校にバスで通学する児童が増加した。

○今後の方針

- ・引き続き、老人会などの地域団体に対してバスの利用促進を継続して行う。
- ・上記自己評価については、1月17日の第15回勝山市生活交通地域協議会で協議を行った。

## ■勝山市の公共交通網全体の定量的な目標・効果

## ★－国補助事業

利用人数（人）	H30.10- R1.9	H29.10- H30.9	H28.10- H29.9	前年度 比較	特殊要因等	評価
えちぜん鉄道 勝山永平寺線	1,419,584	1,388,302	1,374,501	31,282	定期券の利用者が増加	◎
京福バス 勝山大野線	46,249	42,799	45,793	3,450		◎
ぐるりん中部	24,000	21,119	17,733	2,881	観光利用が増加	◎
ぐるりん南部	8,393	7,928	7,150	465		○
北谷線	5,370	6,199	6,379	-829	通学利用減少、人口減少	×
★平泉寺線、平泉 寺・猪野瀬予約便	10,495	10,101	9,133	394		◎
遅羽線	4,783	4,405	3,836	378	通学利用の増加	◎
鹿谷線	9,205	9,616	10,460	-411	年々減少している	×
★北郷予約便	10,454	5,749	3,977	4,705	京福バス北郷線廃止による北郷予約便への利用者の増	◎
荒土線	422	766	932	-344	荒土・野向予約便統合により減少	×
荒土・野向予約便	3,511	2,756	2,533	755	荒土・野向予約便統合により増加	○
野向線	696	1,221	983	-525	荒土・野向予約便統合により減少	×
恐竜博物館直通便	61,746	48,629	50,260	13,117		－
市内観光バス	1,594	1,973	1,854	-379		×

### ■課題 1

鹿谷線の利用者が年々減少し続けている。

→対策

- ・ 各種団体の会合等に出向きニーズを把握し、路線の見直しを検討する。
- ・ 地域団体、学校等に対して利用促進を行う。

### ■課題 2

市内観光バスダイナゴンの利用者が減少。

→対策

- ・ 観光客のニーズを把握し、路線の見直しを検討する。
- ・ 主要観光施設にPRし、利用促進を行う。

### ■共通の課題

- ・ ニーズに即した運行改善
  - ニーズの把握 (OD調査、アンケート調査等)
  - 利用しやすいダイヤ等の設定
  - 標準的なバス情報フォーマット・GTFSファイルの作成
- ・ 免許返納者の増加
  - 公共交通の利用方法の分かりやすいチラシ等の作成 (継続)
- ・ 将来を見据えた公共交通による生活交通サービスの確保・維持
  - バスの乗り方教室の実施(継続)
  - マイ時刻表作成サービスの継続、周知 (継続)
  - 高齢者の利用が多い病院や温泉施設専用の時刻表等の作成 (継続)



令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

## 勝山市地域公共交通活性化協議会

平成23年6月27日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定等

## 1.直近の第三者評価の活用・対応状況

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
えちぜん鉄道の網形成計画の目標値の達成状況についても記載すべきではないか。	えちぜん鉄道の網形成計画を今一度内容や目標を確認し、フィーダー交通の整備・充実、観光用コミュニティバスの運行、公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進に取り組んだ。	網形成計画の目標は、単発で達成できるものではないため、今後も引き続き継続して実施していきたい。
市民の読み手に配慮した記載内容としてほしい。	資料の枚数にとらわれず、取り組んだことを分かりやすく大きく記載したいが、「第三者評価委員会資料の作成の手引」において枚数制限が設けられたため、的を絞って記載した。	作成した自己評価が市民の方に分かりやすく見やすくなるよう今後も意識して作成したい。
「ワークショップ」に参加した結果として見えたことや次への展開まで記載してほしい。	「29年度に取り組んだ内容」に、次年度への展開を記入し、今後の目標や計画を策定した。	継続して取り組むため、自己評価には結果と次への展開を明記する。
補助路線だけでなく、ネットワーク全体の評価体系を踏まえた記載としてほしい。	すべてのバス路線に加えて、市内の他の交通網（京福バス、えちぜん鉄道）の利用者数を把握し自己評価した。	問題のある路線だけを分析や対策するのではなく、ネットワーク全体で分析・対策する必要があるため、様々な交通事業者や施設などと連携していきたい。

### 京福バス勝山大野線のOD調査および啓発等の利用促進事業を実施

#### ○目的

地域間幹線系統である京福バス「勝山大野線」の利用者数が減少しているため、現状を把握・分析し、課題・問題点を洗い出し、対策を行う。

#### ○現状の把握および分析

昨年に引き続き、OD調査を実施した。

OD調査では、調査した便の約54%が高校生の通学利用や郊外学習の利用だった。

大野市民の方で通院や、買い物に利用されている方が約24%、勝山市民で通院や買い物で利用されている方は約20%、観光で利用されている方が約2%あった。

#### ○対策

勝山市から大野市へ通学する高校生の利用が多いため、高校生に的を絞って対策を行う。

大野市と共同で3月に行われる高校入学説明会でバスの利用促進を行う。

大野市、京福バス(株)と連携し、路線・ダイヤ等検証を行う。

フィーダー路線との接続を検証し、市内コミバスの路線・ダイヤ等の見直しを検討する。